

篠田桃紅美術空間からの お知らせ

市制60周年(合併5周年)記念

「仙厓—ユーモアあふれる禅画 武芸川ふるさと館所蔵による」展

【併設】 篠田桃紅「あゆみ」天皇・皇后両陛下下行幸啓記念展

禅僧「仙厓は、聖福寺の住職を退き、境内の虚白院に隠居した60歳過ぎごろより、仏教に関する画題以外にも、風俗画や動植物画など日常的なテーマを多く取り上げるようになります。ユーモアあふれる作品には、禅の奥深い精神が流れ、いかにも仙厓らしい、あか抜けて伸び伸びした味わいを表すようになります。

作品「芭蕉と蛙図」は、松尾芭蕉の有名な句「古池や蛙飛び込む水の音」をもとにしています。物音しない静かな池のほとりで、蛙が池に飛び込むかすかな音が聞こえるという美しい情景を詠んでいます。画賛には、

古池や 芭蕉見てをれ 今飛ぞ



掲載図版 「芭蕉と蛙図」

○「仙厓—ユーモアあふれる禅画

武芸川ふるさと館所蔵による」展

- 会 期…12月26日(日)まで
 - 入館料…高校生以上300円、中学生以下無料
 - 休館日…月曜日(休日を除く)、
休日の翌日(土・日・休日を除く)
 - 開館時間…午前9時～午後4時30分
 - 照会先…篠田桃紅美術空間 ☎23-7756
- 【臨時休館日のお知らせ】
作品入替作業のため、12月27日～1月6日まで閉館します。

とあり、仙厓は、視点を蛙の立場に変えて、今か今かと蛙の飛び込む瞬間を待っている芭蕉をからかっています。描かれた蛙の澄ました表情がユーモラスで、思わずほほ笑んでしまう作品です。

「厓画無法」とは、仙厓が自らの書画制作について語ったことばです。——世の中の絵画には法があるが、自分の絵画には法がない。仏いわく、法のもとには法にして無法なのだ。すなわち、形式にとられない自由な精神のもと、自由奔放で伸びやかな線で描かれた作品は、私たちに今も昔も変わらない人の心のありようを示してくれます。

ひとひと 女と男

ともに自分らしく生きよう vol. 75

妻の子育て 夫も子育て

男女共同参画社会

ある書物によれば「子どもが1歳半時点での夫の育児貢献度と子どもが6歳児の夫の子育てへの関与度との間には強い相関関係があります。育児中の妻をねぎらう気持ちを示すことが大切なのです。夫の子育てへの無関心は一生たたるかもしれない」とあります。

夫は妻をこよなく愛しているのに妻の方は冷めている。こんな夫婦が増えていると聞きます。そうならないためにも子育てに夫が積極的に参加することです。子育てが夫婦の愛情問題にも大きく発展し、長い二人三脚の道程にも影響が出てきます。

子育てというのは、もちろん大きな喜びを得られることではありますが、決して喜びだけではありません。それを分かってくれる夫でないと辛くなります。こうして子育ての問題は、夫の無理解の象徴となって表わされるのです。

このように子育ても非常に大切ではありますが、夫婦の絆を切らない配慮もまた大切なことです。親になっても『夫婦』であることを忘れないことです。

男と女は平等ではありませんが、同じではありません。男性ならではの特性と女性ならではの特性がお互いに補完し合い、明るい家庭をつくり未来がくれるのであればこんな素晴らしいことはないでしょう。



<照会先> さんかくサポーター事務局 (まちづくり推進課内) ☎23-6831